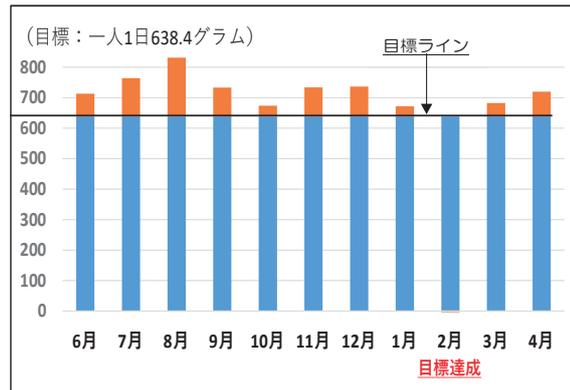


“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果！！

【目標：一人1日あたりの可燃ごみ量638.4gへの達成】

4月の「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果は下表のとおりです。目標（638.4g）から+81.7グラムの増加となってしまいました。2月の目標達成から上昇傾向ではありますが、引き続き生ごみの水切り、資源になる紙くずは可燃ではなく資源として出すなどの徹底をしていただき、可燃ごみの減量化にご協力ください。

月	1人1日あたりの可燃ごみ量（結果）（グラム）	目標との差（グラム）
7月分	763.8	+125.4
8月分	831.3	+192.9
9月分	733.0	+94.6
10月分	673.8	+35.4
11月分	733.8	+95.4
12月分	736.2	+97.8
1月分	671.7	+33.3
2月分	603.9	-34.5
3月分	682.4	+44.0
4月分	720.1	+81.7



— “ごみを減らす10アクション”（3R：スリーアールへの取組）—

3R（スリーアール）とは、「Reduce:リデュース（ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと）」、「Reuse:リユース（くり返し使うこと）」、「Recycle:リサイクル（資源として再び利用すること）」の英語の頭文字Rを三つ合わせて3R（スリーアール）と呼びます。

6月号も引き続き、3Rのうち最も重要なR「リデュース」の取組を紹介します。

日本の家庭ごみは年間約1千万トン、そのうち90%が生ごみと言われています。しかも、生ごみの内訳は、食べ残しが40%とのこと。

（食べ残しの内訳）買ってきたままの食品（38%）、ごはん（8%）、パン類（5%）、肉類（3%）、その他 ※買ってきたまま廃棄される食品の割合が、一番高くなっています。

安いからと言って不要なものは買わない、「お買い得」や「セール」の表示に惑わされず、必要なものだけを買うよう心がけることで、後々、ごみになってしまうものを減らすことができます。

買い物に行く際は、事前に買うものをリスト化するなど、必要なものだけ買うことを意識しましょう。

ごみを出さない暮らしは、環境にもお財布にも優しくなります！

※問い合わせは、環境整備課（クリーンセンター） ☎ 83-2110

「介護のこと語り合いませんか」

家族介護者の会フリージアの会は、自宅で介護されている方が集まって、介護に関する悩みや不安を語り合う場所です。一人で悩まずに介護の体験談を語り合しましょう。初めて参加を希望される方は、お電話ください。参加費は無料です。

〔日時〕毎月第2木曜日

午後1時30分から3時30分

〔会場〕南氷川 ひだまり屋

※問い合わせ、申し込みは、地域包括支援センター ☎ 83-8555

毎年6月23日から29日は「男女共同参画週間です」

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するためには政府や地方公共団体だけでなく、みなさん一人ひとりの取組が必要です。内閣府では、令和4年度のキャッチフレーズを募集し、つぎのとおり決定しました。

「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へこの機会に「男女共同参画」について考えてみませんか。

※問い合わせは、企画財政課 ☎ 83-2360